

Reform Clinic
by
Dr.Kumiko



Shinsaibashi Reform Magazine

vol. 4



Reform Clinic by Dr.Kumiko

あの名品が現代に蘇る!!
Dr.久美子の
リフォームクリニック

3サイズ大きく、デザインは
ひと昔前のスーツを今時に! の巻



コンテンツのなかには
多くの before & after 例を
紹介していますが、
ここでは私が
いつもさせていただいている
フィッティングの模様を
ご紹介します。
捨てられなくて筆筒のなかで
眠っていた名品の数々は
こうして生まれ変わりますと
いう仕上がりも同時に
ご覧いただければ幸いです。



内本久美子 _ Uchimoto Kumiko

心斎橋リフォーム副社長
丸の内店店長兼チーフフィッター
大阪府大阪市出身 O 型 蠍座

大手百貨店の販売を経て、個人でお直し工房をはじめる。職人の手ほどきを受け、ゼロからスキルアップを果たす。心斎橋リフォームの礎となる接客から始めるリフォームを築き上げた同社の顔であり、業界のパイオニア的存在でもある。

Reform Clinic by Dr.Kumiko



近隣の外資系にお勤めの五百住 淑朗さんからエルメネジルド・ゼニアのスリーピースをお預かりしました。

今回のお直しは、サイズ的大幅ダウンを前提に、今時のシルエットとディテールを備えたものに仕上げるという、いわばふたつのミッションが課せられています。一般的には難易度が高いお直しですが、あくまでも自然に、というか、直した形跡がないように仕上げます。それが心齋橋リフォームならではのスキルです。

まずはサイズですが、お持ちいただいたスーツは肩幅が広く、着丈も長く、シェイプも曖昧で、お直し前はこんな感じでした。現在、五百住さんのサイズはイタリアサイズの46位ですが、ゆったりされている方がお好きと伺いましたので、47位のサイズ感に仕上げていきます。

before





1. 最初に肩から始めます。肩幅を調整すると同時に、厚みのあるパッドを薄いパッドに取り替え、肩傾斜も今時のナチュラルなショルダーラインに仕上げていきます。次にラベル幅を調整します。かなり太幅でしたので、ラベルを現代の流行に合わせて調整します。このとき、ゴージラインを解き、後ろ襟を取り外し、ラベルは見返しの内側を解いて調整していきます。肝心なのは、ラベルのロールです。上質なテーラードはここが美しく仕上がっていますから、この部分については念入りに仕上げて行きます。

2. 身幅を調整し、着丈を詰めて行きます。



3. 着丈は6センチ詰めました。大幅な丈詰めですから、肩線を解いてうえに3センチ持ち上げて、残りの3センチはヘムラインから詰めます。このとき一番拘ったのがポケットのフラップ位置です。ヘムから詰める場合はポケット位置が変わってしまうので、一度フラップを外し、フラップの付け位置を調整していきます。こうすることで、フラップの位置も従来のデザインに程近い状態をキープすることができます。また肩線からのお直しについては「職人の横顔 vol.4」でも触れておりますので是非ご参照ください。

4. ジレはバスト、ウエストを調整し、パンツの裾巾と丈を調整したらフィテイングは終了です。

after



<<<
こちらが
完成形です。



>>>
ジレの完成形は
こちらです。



如何でしょう？
どの角度から見ても
綺麗じゃないですか。

ゼニアの素晴らしさを最大限に尊重し、現代的なサイズ感や、プロポーションが備わっていると思いませんか!!

これだけのお直しになると安くできるとは申しませんが、買い換えることを考えたはかなりお得と申せましょう。良いものはリフォームで完全に蘇ります。まずはご相談だけと仰る皆様を歓迎致します。